

外装のプロだからできた圧巻の性能・仕上げ・価格

マリマン 至福の着け心地

オーブの周で「着け心地が良い」と好評を得ているケンテックスの自慢作、マリマンに新作が登場。実際の装着感を新作で試した。

マリマンの真の魅力は着けなければわからない。

ケンテックスは、時計のケースやバンドも商品名を付けていた橋本善治氏が1997年立ち上げた国内ブランド。このブランドの特徴は、創業者のキャリアを活かした外装の作り込みと、その手前を感ぜさせないほどの魅力を感じる。ここに取上げられたマリマンの新作も、ケンテックスらしめが存分に反映されたモデルだ。金属味から削り出されたブレスは中ゴマの高剛性に、表面仕上げは、高級感を演出。ケースは手首との接面を広くしながら、埋め込みスリムに見える円筒形が採られた。その効果も顕著化している。驚くべき可能な限り薄削された。また、ステンレス鋼で「100メートル防水性能」を保持。僅の付きやすい素材

ゼルにセラミックプレートも付けている。このように機能性にも配慮しながら10万円を軽く切る価格設定は、さすが外装のスペシャリストといえない。ケンテックスが大切にしているのは、「ユウフォーリスト」の制作力。つまり、裏面に着けて助めるかなケンテックスの魅力。ぜひ新作マリマンで試してみたいかだろ。

入門ウオッチの枠を超えた
人気ダイバーズの新色



今夏は一挙に5型で登場!



Ref. S2700A-03 723340P Ref. S2700A-09 723440P Ref. S2700A-19 679400P

6月発売の新作マリマンは合計5本。文字盤にマザー・オブ・パールを使ったホワイトMOPシリーズのラバーストラップ版やオールブラック仕様、グリーン文字盤も登場する

外装のプロだからここまで仕上げ抜く



裏フタに手をかけて薄さや装着感を追求

52mm径の裏フタを削り出すことで、スリムさを演出。仕上げのゆけや中央のシャーネースマークなど、審美性を高める意匠にも抜かりない

専門家だからできる強靱な薄型化



ベゼルとガラスの間に見えるメタルリングは、実はミドルケース。一掃的にベゼルと離れられる部分を縫製に仕上げ、露出させることで厚みを抑制



下側に重心を置いて抜群の安定感を獲得

直径4.8mmのケースは円錐形状に成型。装着感の向上、薄さの演出に加え、逆回転防止ベゼルの操作性も高めている。防振リコーティングも効果的

188mm
限定

Where to buy!?



ケンテックスショールーム

☎03-5846-0811
●東京都中央区上野5-5-8 11ビル1F
●10:00~19:00
●土・日・祭は休み

全国の取扱い店は公式サイトでチェック!

<http://www.kentex-jp.com/>

新境地を開拓した
黒×青のコンビ仕様

マリマンシリーズSII

Ref. S2700A-02 723340P

ストラップ、ケース、文字盤をブラックで統一しながら、ベゼルとダイヤの作り込みにブルーを効かした高級、高級グレーの電光流注「スーパーメタル」もブルー発光のタイプが採用されている。自動巻

定番ブラックが
満を持して登場!

マリマンシリーズSII

Ref. S2700A-01 723240P

マリマンに加わった特選の定番色。仕上げを削り出した文字盤に、ブルーのスーパーメタルが映える。医療水準のSUS316L高純度純性ステンレス材を使ったケースは直径4.8mm、ISO規格準拠の200m防水用防水仕様

Impression!



厚みを抑えた設計で大型でも安定感は抜群!

本場仕様も関わらず、外装の厚みは12.8mmにまで抑制。全体の設計も腕の下側からみた安定定定しており、抜群のフィット感が得られた。